２０１８年（平成３０年）９月１７日　月曜日

東奥日報　１５面　掲載

秋季 県高校野球

第２日

秋季県高校野球選手権は第2日の16日、県内3球場で2回戦8試合を行った。八戸工は上北連合に5―0で快勝。連合チーム秋の県大会初勝利はならなかった。三沢商は板柳に16―4、八学光星は八戸西に9―2、八工大一は青森商に12―1、弘前東は五所工に10―3でそれぞれコールド勝ち。このほか青森山田、弘前工、五所商も勝利、8強入りを果たした。大会第3日の17日は、はるか夢（弘前市）と県営（青森市）で準々決勝4試合を行う。（本紙取材班）

きょうの試合　（左のチームが一塁側）

◇はるか夢
▷準々決勝
八戸工―五所商（10・0）
八工大一―弘前東（12・30）

◇県営
▷準々決勝
三沢商―青森山田（10・0）
八学光星―弘前工（12・30）

光星 好機きっちり

八西投手陣つかまる

【八戸西―八学光星】５回裏、八学光星２死二塁、近藤が左翼線に適時打を放ち２―２と同点。捕手・對馬＝はるか夢

▽2回戦（はるか夢）

八戸西	0	1	1	0	0	0	0	0	2
八学光星	0	0	0	0	2	2	4	1×	9

（八回コールド）

（西）敦賀、細川、金―對馬
（光）横山、後藤―太山
▽本塁打　太山（光）
▽三塁打　澤波（光）▽二塁打　川内（西）大江2、後藤、下山（光）
▽暴投　横山、後藤（光）

【評】八学光星は2点を追う五回、1点を返した後に武岡が四球と盗塁で好機をつくると、近藤の左前打で同点に追いついた。七回には太山の2点本塁打などで4点を追加し、八回は1死一、二塁で再び近藤が左翼線に適時打を放ち、コールドで勝負を制した。

八戸西は主戦敦賀が五回以降、光星打線につかまり、細川、金と継投したが、勢いを止められなかった。

打線 徐々にエンジン

○…後半から、徐々に打撃の勢いを取り戻した八学光星。「最初は緊張していた」という新チーム4番の近藤も、五回に同点打、八回にコールド勝ちを決める左翼適時打を放ち、2安打2打点と貢献した。「ここ一番の場面でチャンスをものにできた。自分のプレーでチームを引っ張っていきたい」とはにかんだ。

仲井監督は「初戦だったこともあり、選手たちの動きに硬さがあった」としながら「最後は選手たちの粘り勝ちです」と笑顔を見せた。

【八学光星】		打	安	点	振	球
⑧ 澤波	②4	2	1	0	0	1
④ 島袋	②4	1	0	0	1	1
⑥ 武岡	②4	2	2	1	0	0
③ 近藤	②5	4	2	2	1	0
⑦ 大江	②4	1	0	0	0	2
⑤ 下山	②4	2	1	0	0	2
原	②2	1	0	0	0	2
② 對馬	②3	1	0	0	0	0
太山	②3	1	1	1	0	0
横山	②2	0	0	0	0	1
① 後藤	②3	1	1	0	1	0
併残						
盗						
失						
2	0	9	3	4	1	9	2	4

投	回	打	安	振	球	失
横山	2⅓	10	3	1	0	2
後藤	5⅔	20	2	4	1	0

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです